

山田みやこの活動報告

令和8年3月20日（金）オンライン参加

第8回災害時の連携を考える長野フォーラムにオンラインで参加

長野県災害時支援ネットワークの中谷さんより

～実践から見えた成果と課題～
連携のこれまでとこれからを考える

この3年間休眠預金と日本財団からの寄付で活動

被災者がおかれている環境を変えるためには、尊厳と人権尊重が必要

○ 2025年12月14日に実施した活動

本部設営し避難者への対応と近隣避難所への支援

特定避難所以外の避難者の支援必要

1人1人を尊重する信州型避難所システム

迅速な設営 イタリアモデル参考

設営の苦労は？

ブレイカー落ちた（電気毛布、器具使えず）

避難生活の中でも、遊具、学習スペースが必要

設営場所、廃校の利用もひとつの方法

ジェンダー視点、多様性に配慮

外国人対応、通訳者とつながる

○ 今後の取り組みについて

全体統括者の必要性

目標実現のための組織的意思の形成と実行

調整役を越えた存在が必要

地域の受援体制